

談話室（功労会員紹介）



ともに歩んだ大人の青春！

重 川 秀 実

筑波大学数理物質系

☎ 305-8573 つくば市天王台1-1-1

(2024年11月28日受理)

この度、功労会員の称号をいただきました。学会活動を通じてさまざまな経験を重ねる中で、素晴らしい仲間と共に歩んでこられたことに深く感謝しています。

理事としては、庶務の他、企画委員会や編集委員会に、また研究部会などにも携わらせていただきました。2度目の庶務では法人化に取り組み、文部科学省を訪ねる日々を送りました。机の上に高く積まれた書類を前に、道のりの大変さを実感しつつも、協力し合いながら前進したことが思い出されます。また、当時の企画委員会では、学会の活動資金を支える事業を企画・運営していました。各行事後の楽しい会合では、仲間と労をねぎらい合いながら笑顔で盛り上がるひとときが、今でも心に残っています。編集委員会では、ウェブ投稿システムの導入と構築に関わり、合宿を行うという少し珍しい経験も含め、仲間と過ごした楽しい時間が大きな励みとなりました。

研究では、卒業論文でレーザー開発に取り組み、大学院時代は光電子分光のシステムを手作りするなど、様々な試行と工夫を重ねました。助手時代に米国留学が実現し、ブルックヘブン研究所の放射光施設に滞在して、ベル研究所のビームラインを担当する機会を持ちました。そこで国内外から集まる研究者と日夜研究に打ち込む中、実験をともにした仲間との交流が生まれました。そうして築かれたつながりは現在も続いており、米国、ヨーロッパ、台湾など世界各地で活躍する友人たちとクリスマスや新年の挨拶を交わしたり笑顔で再会したりできることは、留学時代の大きな財産です。その後、筑波大学に移り、走査プローブ顕微鏡と光を組み合わせた新しい顕微鏡の開発に挑み、仲間と新しい夢を追いかけました。こうして振り返ると、若い頃からの挑戦が一つの流れになり、出発点の重要さに気づかされます。

学会活動は、表面科学の魅力に加え、出会う人々とのつながりも宝になります。私自身、感謝の気持ちを胸に、表面科学の発展に向けて努力していければと思います。

[E-mail : hidemi@ims.tsukuba.ac.jp]